

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年8月10日

【四半期会計期間】 第40期第3四半期(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

【会社名】 香陵住販株式会社

【英訳名】 Koryojyuhan Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 薄井 宗明

【本店の所在の場所】 茨城県水戸市南町二丁目4番33号

【電話番号】 029 - 221 - 2110(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経営管理本部長 中野 大輔

【最寄りの連絡場所】 茨城県水戸市南町二丁目4番33号

【電話番号】 029 - 221 - 2110(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経営管理本部長 中野 大輔

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期 連結累計期間	第40期 第3四半期 連結累計期間	第39期
会計期間	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2020年10月1日 至 2021年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年9月30日
売上高 (千円)	4,808,239	6,050,106	7,535,873
経常利益 (千円)	297,292	551,304	572,779
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	195,287	364,109	385,340
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	204,094	365,472	404,462
純資産額 (千円)	3,072,954	3,591,244	3,276,801
総資産額 (千円)	10,100,327	9,438,974	9,068,055
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	149.54	275.85	295.00
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	146.75	269.00	289.46
自己資本比率 (%)	30.4	38.0	36.1

回次	第39期 第3四半期 連結会計期間	第40期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2021年4月1日 至 2021年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	5.59	89.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の連結子会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、当社の連結子会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

また、コインパーキング事業は継続して新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、徐々に回復基調になっていることから、コインパーキング事業における売上高、利益の減少は2021年9月期の連結業績予想からすると軽微であります。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、引き続き経済活動の制限がなされております。国内においてもワクチンの接種が積極的に進められているものの4月以降3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大長期化も懸念されており、景気の先行きは依然として厳しい状況となっております。

当社が属する不動産業界においては、2021年5月の住宅着工戸数が70,178戸で、前年同月比で9.9%増と3カ月連続の増加となりました。利用関係別にみると、持家が22,887戸（同16.2%増）と7カ月連続の増加、貸家が25,074戸（同4.3%増）と3カ月連続の増加、分譲住宅は21,426戸（同8.4%増）と先月の減少から再びの増加となり、また分譲住宅のうちマンションが9,444戸（同1.6%増）と3カ月連続の増加、一戸建住宅は11,797戸（同13.6%増）と18カ月ぶりの増加となりました。当社グループの主力である販売及び賃貸事業分野において、回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況の中、当社は、売買、賃貸、仲介事業における収益確保や賃貸管理物件の新規獲得を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,050,106千円（前年同期比25.8%増）、営業利益は544,672千円（同84.3%増）、経常利益は551,304千円（同85.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は364,109千円（同86.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### 不動産流通事業

不動産売上高は、当第3四半期連結累計期間においては、大型自社企画投資用不動産レーガベネ土浦川口が販売となり、全体として順調に推移しております。仲介事業において、賃貸は新型コロナウイルス感染症により企業が人事異動の時期を分散させるなどの影響から計画を若干下回る形となったものの、売買は仲介件数が好調に推移し、手数料収入が計画を上回る形となりました。

これらの結果、不動産流通事業の売上高は4,262,596千円（前年同期比37.2%増）、セグメント利益は487,582千円（同71.5%増）となりました。

#### 不動産管理事業

不動産管理事業については、当社の安定的な収益基盤であります。自社不動産の新規取得および借上げ物件の新規獲得の遅れから賃料収入は、計画を若干下回っております。管理事業収益においては、当社の管理する居住用及び事業用賃貸物件は19,558戸、駐車場台数は8,615台となり、管理料収入等が売上に寄与する形となりました。また、コインパーキングについては新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの回復基調となり、運営台数も1,192台と順調に推移しております。太陽光発電事業については予算通りとなっております。

これらの結果、不動産管理事業の売上高は1,787,509千円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は572,563千円（同18.0%増）となりました。

財政状態に関する説明は次のとおりです。

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,064,654千円となり、前連結会計年度末と比較して825,581千円増加となりました。これは主に、販売用不動産が978,826千円減少したものの、仕掛販売用不動産が1,159,805千円及び現金及び預金が578,580千円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は4,374,319千円となり、前連結会計年度末と比較して454,663千円減少となりました。これは主に、建物及び構築物が176,805千円、土地が169,813千円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,255,456千円となり、前連結会計年度末と比較して810,629千円増加となりました。これは主に、短期借入金が931,900千円増加したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,592,273千円となり、前連結会計年度末と比較して754,153千円減少となりました。これは主に、自社賃貸用不動産購入等による長期借入金756,078千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,591,244千円となり、前連結会計年度末と比較して314,443千円増加となりました。これは主に、第2四半期連結会計期間末を基準日とする剰余金の配当42,316千円を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益364,109千円を計上したことによるものであります。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はなく、また、新たに生じた課題はありません。

## (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,952,000
計	3,952,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2021年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2021年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,333,700	1,334,700	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	1,333,700	1,334,700		

(注) 提出日現在発行数には、2021年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年4月1日～ 2021年6月30日	11,250	1,333,700	5,692	360,747	5,692	261,947

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,321,700	13,217	単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 750		
発行済株式総数	1,322,450		
総株主の議決権		13,217	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2021年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2021年4月1日から2021年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年10月1日から2021年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,658,131	2,236,712
売掛金	170,910	183,284
販売用不動産	1,659,126	680,300
仕掛販売用不動産	670,043	1,829,848
未成工事支出金	358	-
その他	100,209	155,155
貸倒引当金	19,707	20,645
流動資産合計	4,239,072	5,064,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,077,979	901,173
機械装置及び運搬具(純額)	914,892	858,141
土地	2,152,162	1,982,348
その他(純額)	61,517	36,272
有形固定資産合計	4,206,552	3,777,936
無形固定資産		
のれん	98,515	85,081
その他	108,518	96,795
無形固定資産合計	207,033	181,877
投資その他の資産		
投資有価証券	122,363	115,150
その他	322,035	329,420
貸倒引当金	29,002	30,065
投資その他の資産合計	415,396	414,505
固定資産合計	4,828,982	4,374,319
資産合計	9,068,055	9,438,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,628	111,373
短期借入金	420,000	1,351,900
1年内返済予定の長期借入金	470,904	254,904
未払法人税等	133,172	78,751
預り金	854,144	952,361
賞与引当金	81,245	47,130
家賃保証引当金	6,760	8,020
その他	395,971	451,015
流動負債合計	2,444,827	3,255,456
固定負債		
長期借入金	2,370,240	1,614,162
役員退職慰労引当金	161,334	155,120
退職給付に係る負債	155,433	171,125
その他	659,419	651,865
固定負債合計	3,346,426	2,592,273
負債合計	5,791,254	5,847,729
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	348,729	360,747
資本剰余金	249,929	261,947
利益剰余金	2,630,508	2,919,553
自己株式	63	63
株主資本合計	3,229,104	3,542,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,696	49,059
その他の包括利益累計額合計	47,696	49,059
純資産合計	3,276,801	3,591,244
負債純資産合計	9,068,055	9,438,974

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,808,239	6,050,106
売上原価	2,613,855	3,518,336
売上総利益	2,194,383	2,531,770
販売費及び一般管理費	1,898,874	1,987,097
営業利益	295,509	544,672
営業外収益		
受取配当金	2,136	2,525
受取手数料	4,116	4,405
受取保険金	4,104	2,029
保険解約返戻金	13,157	10,556
その他	4,614	5,211
営業外収益合計	28,128	24,728
営業外費用		
支払利息	21,957	14,184
その他	4,389	3,911
営業外費用合計	26,346	18,095
経常利益	297,292	551,304
特別利益		
投資有価証券売却益	-	7,209
特別利益合計	-	7,209
特別損失		
固定資産除却損	84	0
減損損失	-	11,000
投資有価証券売却損	-	1,309
特別損失合計	84	12,309
税金等調整前四半期純利益	297,207	546,204
法人税等	101,920	182,094
四半期純利益	195,287	364,109
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,287	364,109

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	195,287	364,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,806	1,362
その他の包括利益合計	8,806	1,362
四半期包括利益	204,094	365,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,094	365,472

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

当社グループは営業活動として賃借人と保証委託契約を締結し、契約上家賃の24ヶ月分相当額を上限として家賃保証を行っております。

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
保証債務残高	155,983千円	185,066千円
家賃保証引当金	6,760 "	8,020 "
差引	149,223千円	177,045千円

(四半期連結損益計算書関係)

固定資産の減損損失の内容は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産について減損損失を計上致しました。

用途	場所	資産の種類	金額(千円)
クラウドファンディングシステム	茨城県水戸市	ソフトウェア	11,000

当社グループは、事業資産においては継続的に収支の把握を行っている管理会計上の区分(会社別・営業所別)を単位として、賃貸用不動産においては、個別物件を単位として、資産のグルーピングを行っております。

上記のソフトウェアについては使用中止の意思決定を行ったことから、収益性が低下したため帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上致しました。

なお、回収可能価額は使用価値により算定しており、将来キャッシュ・フローが見込まれないため、回収可能価額を零として評価しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
減価償却費	193,893 千円	180,586 千円
のれんの償却額	11,930 "	13,433 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月27日 定時株主総会	普通株式	27,411	21	2019年9月30日	2019年12月30日	利益剰余金
2020年5月14日 取締役会	普通株式	30,048	23	2020年3月31日	2020年6月15日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年12月25日 定時株主総会	普通株式	32,747	25	2020年9月30日	2020年12月28日	利益剰余金
2021年5月13日 取締役会	普通株式	42,316	32	2021年3月31日	2021年6月14日	利益剰余金

(注) 2021年5月13日取締役会決議の1株当たり配当額には創立40周年記念配当5円が含まれております。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	不動産流通事業	不動産管理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,107,252	1,700,987	4,808,239	4,808,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	13,581	13,581	13,581
計	3,107,252	1,714,569	4,821,821	4,821,821
セグメント利益	284,307	485,225	769,532	769,532

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	769,532
全社費用(注)	474,154
未実現損益の調整額	131
四半期連結損益計算書の営業利益	295,509

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	不動産流通事業	不動産管理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,262,596	1,787,509	6,050,106	6,050,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	13,581	13,581	13,581
計	4,262,596	1,801,091	6,063,688	6,063,688
セグメント利益	487,582	572,563	1,060,145	1,060,145

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,060,145
全社費用(注)	515,600
未実現損益の調整額	126
四半期連結損益計算書の営業利益	544,672

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 (固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、ソフトウェアの減損損失11,000千円を特別損失に計上しております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	149円54銭	275円85銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	195,287	364,109
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	195,287	364,109
普通株式の期中平均株式数(株)	1,305,941	1,319,947
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	146円75銭	269円00銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	24,810	33,613
(うち新株予約権(株))	(24,810)	(33,613)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第40期(2020年10月1日から2021年9月30日まで)中間配当について、2021年5月13日開催の取締役会において、2021年3月31日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	42,316千円
1株当たりの金額	32円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2021年6月14日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年 8月10日

香陵住販株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 開 内 啓 行

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 宮 田 世 紀

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている香陵住販株式会社の2020年10月1日から2021年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年10月1日から2021年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、香陵住販株式会社及び連結子会社の2021年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

- ・四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。